

令和元年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、新津図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：新津図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキングを活かした課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数は10,085件。事項調査については増加傾向にある。 ・行政書士無料相談会を開催(4~6月 計2回3名参加)	・所蔵調査を含むレファレンス件数は、昨年度比104.1%増となり、年度当初の目標は達成した。また、個人予約の件数も目標を上回る増加であった。図書館に対する掘り起こし可能な需要は、まだまだ有ると考えられる。 ・行政書士無料相談会を会開催したが、参加者が3名と少なかった。これに関しては周知不足であり、周知方法の検討が必要である。	3 大変評価する。 50%	・レファレンス件数の増加は、大いに評価できる。 ・件数の増は素晴らしいと思う。 ・新津図書館のレファレンスサービスは丁寧で利用しやすいと耳に入ってくる事が多くなっている。目標を上回る増加は、大いに評価できる。 ・無料相談会については、コロナ感染症の中、2日間開催されただけでも評価できる。 ・「レファレンス」の言葉自体が一般的になじみが少ないし、何をやる窓口なのかわからないので、子どもからお年寄りまですぐわかる親しみやすい名称にしたらどうか。
	◆館の重点評価項目 市民や地域の身近な課題解決及び調査・研究を支援します。	・レファレンスサービスについての周知。	FMラジオ等のメディアを通して、レファレンスサービスについての周知を図った。	FMラジオや図書館だよりなどのメディアを活用し、レファレンスサービスの周知に努力した。今後は、さらに多くの市民に情報が届くよう、多様な媒体を通しての周知に努めていきたい。	3 大変評価する。 50%	・今後、小中学生へのデジタルデータによる配信ができると思う。 ・メディア活用はこれからも大切な手段である。若い人に関心を持ってもらうには一番早い情報手段である。フェイスブックの開設はどうだろうか。 ・今後も、あの手この手を使っての周知活動に力を入れてほしい。
特色ある地域づくり図書館	◇全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・郷土資料の所蔵冊数が268冊増加(中央図書館を除く市内中心館では最大の蔵書量)。 ・地域のパンフレット、発行冊子を積極的に収集。	・郷土資料については、蔵書数を増やすことができおり、今後も資料の収集を着実に進めていきたい。 ・地域のパンフレット、発行冊子を積極的に収集した。	3 大変評価する。 83%	・郷土資料の充実が一層望まれる。併せて、その活用に向けて利用者や市民に向けた広報の充実が求められる。 ・学校図書館との連携があつてよいと思う。 ・新津図書館の強みとして、これからも収集を進めてほしい。また、活用法についても提案してほしい。
	◆館の重点評価項目 電子図書館機能を強化するとともに、新潟らしい特色ある資料の提供に取り組めます。	・古地図などの郷土資料をデジタル化し、ホームページ上で公開する。	・新津図書館所蔵の古地図をホームページで7点を追加公開(累計点)。	・Web上で公開することで、市民に限らず、広く活用が図られるようになってきた。	3 大変評価する。 66%	・ホームページが利用しにくい。開くまでの手順が難しい。開いても映像が楽しくない。もう少し工夫が必要。 ・古地図などの郷土資料は、新津図書館の特色でもあるので、広く活用されることを願っている。
子ども・社会・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。 ・赤ちゃんタイムの利用を促進する。 ・うちどく(家読)を推進する。	・1歳児誕生歯科検診受診者451名のうち448名にブックスタートを実施。参加ボランティアは延71名(平成30年度は516名に実施)。	・ボランティアの協力を得て、1歳児歯科検診を受診する保護者に、子どもと一緒に絵本を楽しむこと、絵本に対する子どもの反応を知ってもらうことができている。 ・ボランティアが読み聞かせの際に図書館の周知を行っていることで、毎週火曜日の赤ちゃんタイムには多数の親子連れが利用している。 ・秋葉区では、新津図書館をはじめ地区図書室の状況などから、読み聞かせへの保護者の認知度が高いと思われる。	3 大変評価する。 100%	・長年、実施されていることで、読み聞かせへの保護者の認知度が高いと思われ嬉しいことである。 ・ブックスタートでまだ新津図書館の場所を知らない方が、まだまだ、いらっしゃいます。地図を見せて案内していますが、なかなかわかりにくい場所です。押しボタン信号の曲がり角に標示はありますが、小さくて見逃しやすいです。もっと大きなプレートで矢印を入れたものに変更してほしい。 ・読み聞かせは利用者が多い。新津図書館の特質な所なので、次年度の取組にも期待している。
	◆館の重点評価項目 子どもの読書環境の整備に努め、子どもたちの豊かな心身の発達を支えます。	・赤ちゃんタイムの実施。 ・おはなしのじかんへの参加促進。	・おはなしのじかん参加人数 延人数2,274名(平成30年度 延べ人数2,645人)	・年度末の2~3月に、新型コロナウイルスの影響によりお話の時間を休止したため、年間での参加者は減少した。 ・赤ちゃんタイムについては、新たな教育ビジョンの中で実施回数増を掲げており、新津図書館においての対応を検討していきたい。	3 大変評価する。 34%	・今年度はコロナの影響の中、開催を検討するだけでも大変であったと思われる。これからも読書環境の整備に努めて、出来るだけ開催に努めてほしい。 ・赤ちゃんタイムの間中は、職員が読み聞かせの場所において、月齢や性別、好みに合った本やおすすめの本を紹介するとか具体的な行動をしたらどうか。 ・子どもとその母親への働きかけは、今後の図書館利用とつながっているので、ボランティアとも協力しながら、力を入れて活動を続けてほしい。
市民参加と協働を推進する	◇全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・おはなしのじかんでの読み聞かせボランティア 活動 延人数324名(全182回) ・配架ボランティア 延284名(全138回) ・主催事業での参加ボランティア 延40名(全44回)	・おはなしのじかんは、毎回、内容が工夫され、子どもやその保護者に絵本の楽しさを感じてもらえることができている。 ・配架ボランティアは無理のない範囲で活動を行っているが、定期的に活動している。 ・主催事業ではボランティアの助力が大きく、毎回盛況のうちに事業を終えることができている。	3 大変評価する。 100%	・読み聞かせの活動の着実な定着が伺える。今後も、ボランティアとの連携が進むことが期待される。 ・ボランティアの存在はありがたいこと。 ・良い結果が出ていることは、大いに評価したい。 ・読み聞かせやワークショップ等で、2歳くらいのお子さんを連れさらに赤ちゃんを抱っこして1時間以上も参加くださる方が近年増えている。移動可能な簡易ベビーベッドも整備していただきたい。
	◆館の重点評価項目 ボランティア、関連機関との連携強化	・市民のボランティア活動が継続できるよう、支援や情報提供を行う。	読み聞かせ活動の要望がある施設等をボランティア団体に紹介し、活動のマッチングを図った。	読み聞かせの要望がある施設と、熱意あるボランティア団体とを繋ぐことにより、連携の強化が図られるとともに、互恵の関係づくりに寄与することができた。	3 大変評価する。 100%	・学校での読み聞かせも、回数増となるようお願いしたい。 ・連携強化が図られ、互恵の関係づくりに寄与することは、これからの成長につながっていく方法の一つであると思われる。これからの期待する。 ベテランのボランティアさんばかりですが、年に一回くらいはステップアップ講座を新津図書館で開催してほしい。